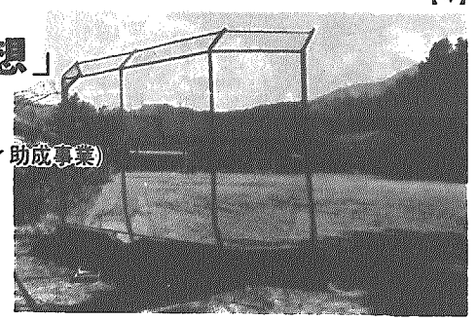
教育・文化 スポーツ

「生涯教育基本構想」の策定を

旧間瀬中グラウンドに運動広場を（コミュニティ助成事業）



▲旧間瀬中グラウンド

学校教育の充実

人間性豊かな児童生徒の育成は、村の重点施策のひとつです。恵まれた自然環境と充実した教育施設の中で、子供たちがのびのびと勉強やスポーツに打ちこめるよう、さらに整備を進めます。

また、今年一学級増になる和納小学校・岩室中学校は施設設備の整備充実と相まって、適正な教職員組織による効率的な学校運営を推進し、内容面での一層の充実を図っていきます。

生涯教育基本構想を策定

昨年合併二十五周年記念事業として県内でも初めてといわれる生涯教育推進大会を開催、「生涯教育元年」としてスタートしました。今年は、「より豊かに、より健康に、より幸せに」の指標を実現するため、新たに生涯教育推進協議会を発足させ、データーの情報収集、推進シンポジウムなどの開催と併せ、生涯教育基本構想を策定します。

コミュニティ助成事業として運動広場の整備

年々盛んになるスポーツ活動。そのために村では毎年施設の整備拡充を行っています。

今年度は新たに、自治振興センターのコミュニティ助成事業（宝くじ還元事業）として、間瀬研修所（旧間瀬中学校跡）グラウンドを整備。整地をはじめフェンスや用具庫、トイレ、側溝などを新設して、運動広場を作ります。この夏、大いにご利用ください。

観光

〝面の観光〟へ連係プレー

地域活性化対策として温泉の試掘も計画

昨年全通した関越自動車道を有効に活用。温泉、海、そして山のめぐまれた観光資源を生かした誘客宣伝を積極的に進め、観光の振興を図ります。

また、オープン以来好評をいただいている丸小山広場周辺を整備（駐車場、広場の芝はり）し、併せて海岸保全整備事業として、間瀬海岸白岩付近の道路整備を行います。さらに、地域活性化対策事業として、間瀬田の浦地区に温泉試掘を計画しています。

このほか、車を利用する観光客のため誘導施設として道路案内標識の整備や岩室温泉まつりを広く県内にピーアールするため、テレビ放映の助成を行います。

間瀬田の浦地区

商工業

企業誘致に奨励金も

中小企業をとりまく経済環境は、打ち続く景気の低迷により厳しい状況にあります。まず商工業振興、とりわけ地方産業育成対策として、各種金融制度の一層の充実を図りました。

また、雇用の場確保と併せ積極的に企業誘致を図るため、工場誘致条例による奨励金を二百十万円計上しました。

衛生

健康づくり学級 健康づくり講演会を

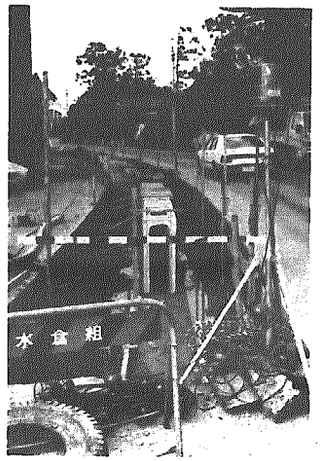
新たに、健康づくり協議会を発足させ、健康づくり学級・健康づくり講演会を実施。

また、壮年期からの健康管理意識の向上を図るとともに、総合検診をはじめ、肺がん、胃がん・子宮がん・糖尿病検診などの成人病予防対策事業を継続、一千四百十九万円を計上したほか、好評の人間ドック助成事業は国保会計と合わせて、昨年より対象が五十人多い、二百人分、二百十万円を計上しました。

建設

生活環境の整備

― 村道整備着実に ―



村民のみなさんから、最も要望の多いのが村道整備です。そこで本年度も生活基盤道路の整備を金池地区など十三路線で、六千七百万円余りを投じます。

これにより、村道舗装は約八十七キロ㍍、八六%、村道改良は六十四キロ㍍、六五%に達します。

また県道関係については、一般県道負担金二百万円を。巻五ケ浜バイパス道路負担金として約四百万円を計上。新潟寺泊線の岩室バイパスについても早期着手を強く要請します。

このほか、雪に負けないまちづくりを目指して、昨年から始まった和納地区の消雪パイプ布設の延長を要請するとともに、村単独事業として去年からスタートした村道融雪補助（百万円）を今年も継続します。さらに、除雪車を新規に購入し、冬期間のみなさんの生活を守るため除雪対策に万全を期します。

健康で文化的な都市生活と機能的な都市活動の確保を図り、効率的な土地利用を進めるため、新たに二か年継続事業として都市計画区域指定事業に着手します。予算的には現況調査、基本構想策定のため本年度一千万円を計上しました。

国土調査　九年目を迎えた今年は南谷内、猿ケ瀬の両地区を予定。総事業費一千八百六十五万円で推進します。

都市計画

農林水産業

生産基盤整備の促進

農業振興　農村総合整備モデル事業は国の予算配分が厳しいなか、八千七十五万円を計上。橋本地内、樋曽地内など舗装七路線、岩室地内、和納八区など改良三路線。集落排水路改良は和納一区、和納金丸の二路線を予定。

また、第三期の最終年度に当たる水田利用再編対策の目標達成に向け、転作団地の推進などに一千二百九十二万円を。

林業　林道岩室金池線は今年度、舗装六百㍍を計画。全長四・六キロ㍍のうち約九〇%が舗装化になります。

また、地域産業おこしとして取り組んでいる特用林産物、しいたけ発生舎の建設費（二棟分＝県費）として四百五十万円を見込み、村助成と併せ林業の振興を図ります。

水産業　間瀬漁港整備の継続（六百万円）と、新たに沿岸漁業の近代化を目指して、新沿岸漁業構造改善事業（活漁の出荷推進事業）に取り組みます。

防災

時報（チャイム）は朝6時に

交通事故――わたしたちの身にいつふりかかってくるかわかりません。交通事故からみなさんを守るため、交通安全対策に五百二十万円余りを計上しました。

また、今年一月一日から運用を開始した消防防災無線――みなさんの安全と広報活動の円滑化のため、さらに内容を充実、行政サービスの向上を図ります。そのため、きょうから朝の時報チャイムを六時十五分から六時に切り替えます。

特別会計

国民健康保険・老人保健などの特別会計予算は次のとおりです。

〈会計別予算額〉

会計別	予算額	伸び率
国民健康保険	4億3,005万円	－ 0.4%
老人保健	4億4,777万円	＋ 3.6%
水道事業	4億4,288万円	－25.0%
農業共済	1億2,352万円	＋ 2.2%
温泉集中加熱事業	5,175万円	－ 6.4%
土地取得	405万円	＋11.0%
合計	15億0,002万円	－ 8.2%